

2024（令和6年度）  
グループホームしらさぎ 事業報告  
（共同生活援助）

はじめに

当法人の長年の夢であった「住まいの場」として、「日中サービス支援型」のグループホームしらさぎを7月にオープンした。オープン時の入居予定者のうち1名が、5月より手術並びに術後の療養のために入院をされており、全員揃ってのオープンとはならなかった。この利用者様については、7月31日に退院をされ入居されたものの、8月2日には容態悪化、救急搬送となり、再入院をされた。8月末に入院先の病院の地域連携室の担当者、主治医、ご家族様と話し合いの場をもち、入院期間が長期的になり退院の見通しがもてないことが判明したため、9月初旬をもって契約解除となった。

尚、オープン時の空床については、強度行動障害のかたの体験利用を12日間受け入れた。また、年末年始については半数の方が、自宅への帰宅をされた。初年度7月から3月までの9か月間の稼働率は95%であった。

入居された利用者様においては、ホームシックになられるかたもなく、1か月もしないうちに、各人の生活スタイル・ペースをつかめたようであるが、新しい環境の中で、部屋での放尿、失便や弄便行為、寂しさから叫ぶなどの症状などが見られた利用者様もあり、精神面での不安や緊張が見られた利用者様もおられた。オープン当初は夜勤者を2人対応にしていたため、そうした利用者様の精神的不安についても寄り添った支援を行うことができた。

生活の中で、特に食事には力をいれており、職員の手作りで提供している。折々に利用者様のリクエスト食のテイクアウトや宅配、行事の時には豪華ディナーを準備し、皆様に大変喜んでいただけた。1人1人のお誕生日には、みんなでホールケーキを囲んでお祝いをし、一つ屋根の下で暮らす仲間への敬愛の念を高められているように感じる。

健康面においては、毎月の往診、歯科往診にて医療機関との連携を密にしており、さらには平素、常勤職員が24時間、利用者様の健康管理をしっかりと行い、協力医療機関と連携を密にしていることもあって、入院につながるようなケースもなく、日中の生活介護事業所を長期欠席する方もなく、みなさん元気で落ち着いた生活を送られている。インフルエンザやコロナウイルスなどの感染症など、職員は罹患したものの、入居者様は1人も罹患されることなかった。

日常的な生活支援の中で、一番大切にしているのが利用者様の意思決定支援と選好支援。利用者様個々が、何が好きで、何を望み、どうしたいのかを、しっかりと傾聴したうえで支援を行うことを職員間で統一し支援を行った。

職員については、外部からの夜間支援従事者3名はオープン後1か月以内には全員辞職。常勤のオープニングメンバー6名のうち、2名が1月末、2月末と退職をした。法人内異動で配置はクリアしたものの、今後も常勤 非常勤問わず職員の確保は悩ましい問題である。

【共同生活援助】

1. 利用定員 8名
2. 入居者状況

障害支援区分 6	7名
障害支援区分 5	1名
障がい特性	強度行動障害 4名 重心障がい者 3名
オムツ利用者	5名
食事全介助者	2名
排便コントロール必要者	7名（うち、5名は浣腸、摘便要）
年齢区分	65歳以上 3名 50歳代 2名 40歳代 3名

3. 稼働率

営業日数 274日 （8人×274日=2192人）  
 体験利用者数 12人  
 実利用人数 2075人  
 稼働率 95%

4. 行事

7月	お誕生日会、夏祭り、花火大会
8月	買い物（マルナカ）、移動スーパーでの買い物、しゃぶしゃぶ
9月	散髪、焼肉、移動スーパーでの買い物、お出かけ（道の駅） 福山市長選挙
10月	お出かけ（フジグラン、動物園）、自動販売機にてジュース購入体験、 衆議院選挙郵便投票
11月	お誕生日会、健康診断、クッキング
12月	散髪、健康診断、クリスマス会、外食、ドライブ、セブンイレブンにて 買い物体験、イルミネーション見学（井原駅） 年越しそば、 防災訓練、洪水避難訓練
1月	誕生日会、初詣（草戸稲荷）、おせち料理、雑煮
2月	散髪、節分祭、バレンタイン
3月	出張シェフ（沖縄料理）、誕生日会、クッキング、散歩、お花見

## 5. 支援内容

- ・生活支援（食事・入浴・排泄・更衣）
- ・清掃・洗濯・居室の整理整頓
- ・ベッドメイキング
- ・買い物、調理
- ・金銭管理
- ・服薬管理
- ・余暇活動支援
- ・地域活動への参加支援（秋のお祭り）
- ・創作活動、レクリエーション活動支援
- ・就寝介助、起床介助
- ・夜間の巡視・安否確認・排泄介助・更衣
- ・緊急時の対応（体調不良時など）
- ・投票支援

## 6. 職員研修・訓練等

意思決定支援研修  
 強度行動障害初任者研修  
 新規採用職員研修  
 感染症予防委員会  
 虐待防止委員会・研修・チェック  
 身体拘束適正化委員会  
 ハラスメント研修  
 防災訓練、洪水避難訓練  
 BCP（自然災害・感染症）研修、訓練

## 7. 職員配置

\*短期入所（1名）は区分6の人数にプラスする。

障害支援区分	人数	世話人 (6:1)	世話人 (7.5:1)	生活支援員
6	8人			3.2人 (2.5:1)
5	1人			0.25人 (4:1)
合計	9人	1.5人	1.2人	3.5人

### 1週間の配置基準時間数

生活支援員：40×3.5=140H

世話人：40×(1.5+1.2)=108H

## グループホームしらさぎ 事業報告 (短期入所)

### はじめに

ここ数年、あんずの家ご利用のご家族様よりニーズの高かった「短期入所」が出来る場として、グループホームしらさぎを7月にオープンした。

オープンして3カ月間は、入居者様の新生活が落ち着かれることを最優先としていたため、10月より少しずつ稼働率をあげていった。

グループホームしらさぎ短期入所の大きな特徴は、看護師が夜勤をする日があるということで、医療的ケアの方をお受けするという点にある。

これまで、医療的ケアが必要な3名の利用者様に定期的にご利用いただいております。

お話を伺うと、夜間はずっと利用者様の横で親子川の字になって眠っておられたそうで、体位変換や、オムツ交換、更衣などでゆっくりと熟睡出来る日が多かったとのこと。「しらさぎの短期入所利用が始まってからは、夜ゆっくり眠れて身体を休められるので、疲れがとれるようになりました」と、大変喜んでくださっている。微力ながら、ご家族様のレスパイトの役割を果たせたのではないかと考えている。

これからも必要とされる利用者様、ご家族様にとって、安心できる質の高いサービス提供が出来る事業所でありたい。

1. 利用定員 1名

2. 支援内容

- ・生活支援（食事・入浴・排泄・更衣）
- ・清掃・洗濯・居室の整理整頓
- ・服薬管理
- ・レクリエーション活動支援
- ・就寝介助、起床介助
- ・夜間の巡視・安否確認・排泄介助・更衣
- ・緊急時の対応（体調不良時など）

3. 稼働率

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
%	16%	16%	21%	37%	27%	26%	24%	47%	45%	29%